

2014年(平成26年)1月10日(金)

こ ばん
子ども版

なばりんく

まちびと探し



ちはら す み こ
千寿美子さん

ボランティアの楽しさって？

千寿美子さんはいろいろなボランティアを経験して「自分にできることで、笑顔を引き出すお手伝いをできることが、ボランティア活動の大きな魅力です。」そして「一緒に活動する『仲間』ができたことが大きな財産です♪」と話されます。

ボランティアは、みんなを笑顔にすることができたり、同じ気持ちの仲間と出会うことができたり、普段できない体験ができたりします。ボランティアって楽しそうだと思いますか？みなさんもぜひボランティアにチャレンジしてみてくださいね。

なばりんくイメージキャラクター
りんちゃんです！よろしくね♪



だいごう
第3号！

この『まちびと探し』は、名張市内に住み、自分のことだけでなくみんなが幸せに楽しく暮らせるように、地域でいろいろなボランティア活動をしている縁の下の方たちを紹介するコーナーです。

自分の特技を活かして、いろいろなボランティアをしている千・さん。例えば、高齢者の方にアレンジフラワーの作り方を教えたり、地域の方にカレーライスを作ってもらって食べてもらったり、みんなが笑顔になるお手伝いをしています。他にもいろいろなボランティアに参加されています。

たいせつ なかま
大切なボランティア仲間みなさんです♪



えが お み
笑顔が見れるといいなあ☆



名張のむかしを歩もう！

『名張のむかしを歩もう！』では、ボランティアグループ「おきつもを語る会」のメンバーさんが、名張の昔なつかしい様子について切り絵や白黒写真と共に語ってくれています。

なばりんくむかし
名張の昔の写真です。どこで撮られた写真かわかるかな？

①



②



「おきつもを語る会」って？

「おきつもを語る会」は、平均年齢87.5歳のおじいちゃん・おばあちゃんが、多くの人に名張の歴史や文化を伝えるために活動しているボランティアグループさんです。名張の風景を切り絵に

したり、名張の地図を立体模型にして、目で見ても伝わりやすいように工夫されています。

名張の昔について知りたいことがあれば、「おきつもを語る会」をたずねてみてくださいね。



なばりんくむかし
名張地区の城下川

①名張市中町の石の鳥居です。昔は機械がなかったので、鳥居の材料は手作業で運ばれたそうです。

②名張駅西口の乗合自動車（バス）の待合室です。昔の名張駅の周りは観光地としてにぎわっていて、子どもたちは遊園地と呼んでいたそうです。

『なばりんく』は「なばりん」と、つなぐ・つながるという意味の「リンク」を合わせることで、地域に住むいろいろな人をつなぐきっかけになればという思いを込めて名前を付けました。みんなの地域で取り組んでいる身近な福祉活動を応援し紹介する情報紙です。

はっこう しゃかいふくしほうじん なばりんしゃかいふくしきょうかい
発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

なばりんしきょうふくし ない
名張市総合福祉センター ふれあい内

なばりんまるのうち
〒518-0718 名張市丸之内79 ☎ 63-1111